

大人気！発売中！ 鳥取市防災ラジオ

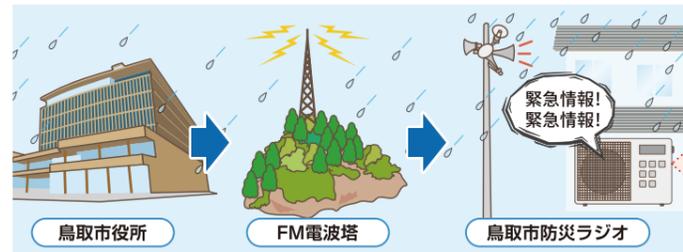
■ 鳥取市防災ラジオとは

災害時などに市が緊急情報を発信した際、ラジオ局（FM鳥取）の電波を利用して、自動で放送するラジオです。

避難指示などの避難情報や、緊急地震速報、国民保護情報が放送されます。また、平時は通常のFM・AMラジオとして使用することができます。



販売価格 2,000円（税込）



電源オフ時、他局聴取時も自動で起動・切り替え!!
防災行政無線と同時配信で、迅速な情報収集が可能です！



防災ラジオの販売店は本市公式ホームページや問い合わせ先でご確認ください

■ 鳥取市防災ラジオの特徴

①自動起動機能

災害時などに、防災行政無線で発信する緊急情報を放送
※緊急情報の自動起動可能な場所は、FM鳥取の可聴エリアに限ります。

②コンパクトで持ち運びが容易

垂直避難時の部屋移動、避難所への持ち出しに対応

③ライトの点灯機能

緊急情報の受信時にライトが自動で点灯し、光でお知らせ

④緊急放送の録音機能

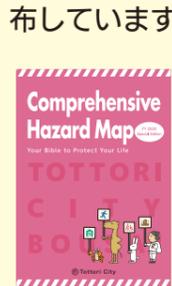
放送を聞き逃したときなど、自動録音された緊急情報を再生可能

防災のポイントが1冊にまとった 総合防災マップをご活用ください！

本市発行の防災マップには、お住まいの地域の河川が氾濫した場合の浸水の深さや、土砂災害の危険区域などの情報を掲載しています。また、防災情報の収集や持出品、備蓄品などに関する情報のほか、避難行動についても詳しく紹介し、災害から命を守るために必要な情報をまとめています。

この防災マップを活用して、避難場所までの安全な経路や、非常持出品などについて、日頃から家族や地域で話しあっておきましょう。

防災マップは、市役所本庁舎総合案内などで配布しています。



◀ピンク色の表紙の英語版も発行しています

申告してください。他の避難者との接触にも注意していただくようお願いいたします。

◎最後に市民のみなさんへメッセージをお願いします。

本市はコロナ禍においても安全な避難所とするため、感染対策を整えています。災害の危険が迫り、本市から避難情報が発令された場合は、新型コロナウイルスへの感染がご心配であっても、差し迫る危機を回避するため、ためらわず

危険な場所から避難してください。避難は自分自身の決断と実行にかかっています。自分や大切な人の命を守るために最善の行動をとっていただきたいと思っています。

なお、本年5月より、避難勧告の廃止など避難情報の名称などが変更されました。内容をご理解の上、災害時には本市が発信する情報に注意し、命を守る適切な避難行動をとっていただきますようお願いいたします。

日頃の備えといざという ときの決断が命を救う！ コロナ禍であっても 迷わず避難を！



鳥取市危機管理部
部長 乾 秀樹

危機管理部長に聞く コロナ禍における避難のポイント

- ◎災害発生前に日頃から確認しておくことはありますか？
防災マップ（5ページ参照）などでお住まいの地域の災害リスクを確認しておくことが大切です。災害発生時に自宅などでの安全確保が可能な人は、避難所へ避難する必要はありません。平時から水や食糧などを備えたうえで在宅避難をお願いします。自宅が危険な場合は、早めに安全な親戚・知人家に避難することも考えておきましょう。
- ◎防災情報はどのように取得すれば良いですか？
情報を自ら取得する習慣を身につけておくことが大切です。本市が発する防災情報は、ケーブルテレビやFMラジオ、防災行政無線、鳥取市防災ラジオ（5ページ参照）、本市公式ホームページで発信するほか、お持ちの携帯電話に届く、あんしんトリピーメールなどで発信しています。
- ◎避難する際に必要なものはありますか？
非常持出品には非常食のほか、持病の薬や感染症予防のためのマスクや体温計なども加えていただければと思います。家族が3人以上いる場合は、非常持出品は3人分を準備してください。
- ◎災害時に体調が悪い場合、避難することがためらわれますが、そういった場合の避難はどうすればよいでしょうか？
まずは、命を守ることが最優先です。在宅避難や、親戚・知人家への避難が困難な場合は、迷わず避難所へ避難してください。避難所到着時には、避難所内での感染拡大を防止するため、必ず体調を
- ◎コロナ禍において避難所で過ごす際には、どのようなことに気をつけなければよいでしょうか？
マスクの着用、手指消毒やこまめな手洗い、咳エチケット、他の人との距離をとるなどの、基本的な感染症対策を守っていただきたいと思います。
- ◎感染症対策以外に避難所での過ごし方で気をつけることはありますか？
避難された人々のお互いの協力が必要です。感染症への正しい理解を持ち、高齢者や障がいをお持ちの人など、支援を要する人への気配りに努め、地域が協力して感染症に備えた避難所運営を心がけましょう。